

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4442794号
(P4442794)

(45) 発行日 平成22年3月31日(2010.3.31)

(24) 登録日 平成22年1月22日(2010.1.22)

(51) Int. Cl. F 1
A 6 1 F 5/01 (2006.01) A 6 1 F 5/01 N

請求項の数 4 (全 9 頁)

(21) 出願番号	特願2002-313745 (P2002-313745)	(73) 特許権者	597098855 橋本義肢製作株式会社
(22) 出願日	平成14年10月29日(2002.10.29)		岡山県岡山市大学町4番11号
(65) 公開番号	特開2004-147726 (P2004-147726A)	(73) 特許権者	599035627 学校法人加計学園
(43) 公開日	平成16年5月27日(2004.5.27)		岡山県岡山市北区理大町1-1
審査請求日	平成17年10月25日(2005.10.25)	(74) 代理人	100088993 弁理士 板野 嘉男
前置審査		(72) 発明者	森本 正治 兵庫県尼崎市西難波町2丁目29-2
		審査官	田中 玲子

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 下肢装具における膝継手

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

大腿部を支持する大腿支持部に連設される大腿側支柱と、下腿部を支持する下腿支持部に連設される下腿側支柱とを膝関節個所で回動可能に連結する下肢装具における膝継手において、この膝継手が、膝を180°延ばした状態である伸展又は90°曲げた状態である屈曲した状態に対応する大腿側支柱と下腿側支柱が伸展又は屈曲した状態をロックしているものであり、アンロック操作により、大腿側支柱と下腿側支柱が伸展から屈曲又は屈曲から伸展がそれぞれ逆方向の可動を許容しつつ可能になるとともに、屈曲又は伸展のいずれかの状態になると、大腿側支柱と下腿側支柱が屈曲又は伸展した状態に自動的にロックされる回動機構を有することを特徴とする下肢装具における膝継手。

10

【請求項2】

大腿側支柱及び下腿側支柱が共に脚の内外に沿うものであり、膝継手が内側の各支柱間に組み込まれるものである請求項1の下肢装具における膝継手。

【請求項3】

回動機構が、大腿側支柱と下腿側支柱とをピンで枢着するものであり、大腿側支柱に取り付けられて下腿側支柱に対して係合する係合部材と、係合部材の係合を制御する第1レバーと、第1レバーの回動を制御する第2レバーとを有しており、大腿側支柱と下腿側支柱が伸展と屈曲した状態のときに係合部材が下腿側支柱に係合して伸展と屈曲した状態にロックしており、第1レバーの引上げによるアンロック操作で係合部材の係合を外して下腿側支柱の回動を許容するとともに、第2レバーで第1レバーの引上げ状態を保持し、下

20